

令和7年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	株式会社 札幌リゾート開発公社	所管課	経) 観光・MICE推進課
基本財産	1,020,000千円	記入者	担当 栗原 電話 011-211-2376
設立年月日	昭和48年(1973年)6月28日	本市出資額	200,000千円 (出資割合 19.6%)
設立・出資目的	「札幌市長期総合計画」に基づき、昭和46年度から第1次5ヶ年計画として社会開発の推進のなか、環境破壊等から市民を守り豊かな市民生活を確立するため、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興を目的として設立した。	出資年月日	昭和48年(1973年)12月4日
代表者	代表取締役社長(常勤) 熊谷 淳(市OB)	沿革	昭和48年 設立 昭和51年 豊平峡電気自動車開業 昭和53年 札幌国際スキー場開業 昭和57年 ていねプール開業(札幌市受託業務) 昭和60年 定山溪温泉スポーツ公園開業 平成13年 札幌市藤野野外スポーツ交流施設索道部門(札幌市受託業務) 令和2年 札幌市藤野野外スポーツ交流施設単独受託(札幌市受託業務)
主な出資者	① 札幌市 (19.6%) ② 日本政策投資銀行 (14.7%) ③ JTB (11.5%) ④ 日本カストディ銀行 (5.8%) ⑤ ⑥		
団体所在地	〒061-2301 札幌市南区定山溪937番地先		電話 011-598-4511

2 実施事業

(詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① ていねプール(手稲稻積公園内)の管理運営(5ページ)	② 札幌国際スキー場事業(6ページ)
ていねプール(手稲稻積公園)の指定管理者として、プールの維持管理、安全確保に関する業務を行う。	定山溪地区観光振興の一環として札幌国際スキー場の管理運営を行う。
③ 豊平峡電気自動車事業(7ページ)	④ Fu'sスノーエリア索道・コースの管理(8ページ)
豊平峡電気自動車の運営、受託事業を通じて魅力ある場所の提供に努める。	指定管理者として藤野野外スポーツ交流施設の索道・コース管理業務を行う。令和2年4月から単独で指定管理者となり同施設の管理運営を行う。
⑤	⑥
⑦	⑧
(2)総支出に占める事業支出割合	99.3% (主要事業支出合計 1,507,592千円 ÷ 総支出 1,518,652千円)
(3)主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価 <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない	
理由	札幌国際スキー場や豊平峡ダムの来場者数は目標値に及ばなかったものの、地元客の誘客に向けて積極的に取り組むなど、定山溪地区の振興といった設立目的に寄与し、一定の効果が出ているところである。札幌市が推進するスノーリゾート推進戦略における中核的なスキー場として、さらに効果を高める余地があると認識している。
(4)主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価 <input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない	
理由	地元客誘客に向けた取組により、札幌国際スキー場の来場者は令和5年度の実績を下回ったものの堅調に推移しており、出資・設立目的を達成するために必要な事業が実施されている。今後も、常に事業内容を検証の上、事業の拡充や改善を行うなど、売上やサービスの向上に努める必要がある

3 団体職員・構成員等

令和7年4月1日現在(単位:人)

本市OB					本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員の任期			
役員										10歳代	0	40歳代	13	取締役	2	年
	常勤取締役				1	0	2	0	16	20歳代	3	50歳代	18	監査役	4	年
	常勤監査役				0	0	1	0		30歳代	6	60歳代	7	代表権のある役員 の就任年月		
	非常勤取締役				10					平均年齢		49.3	歳	取締役	R5.4	
	非常勤監査役				2											
職員									145					職員総数の推移(人)		
	常勤管理職				0	0	6	1						R05.4.1時点	137	
	常勤一般職				0	0	41	0						R06.4.1時点	137	
	非常勤職員				97											

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分			R5年度決算	R6年度決算	(経常収入比)	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳		経常収入 (a+f)	1,540,033	1,819,454	(100.0%)	(+279,421)
	損益計算書	営業	売上高 (a)	1,519,736	1,809,458		(+289,722)
			営業費用 (b)	1,319,980	1,518,652		(+198,672)
			うち販売費・一般管理費	825,706	965,690	(53.1%)	(+139,984)
			うち人件費(d)	457,344	512,234	(28.2%)	(+54,890)
			営業利益 (e)	199,756	290,806		(+91,050)
	営業外	営業外収益 (f)	20,297	9,996		(▲ 10,301)	
	当期純利益(g)		199,997	328,362		(+128,365)	
	貸借対照表	資産(h)		2,610,786	3,098,549		(+487,763)
		流動資産(i)	915,606	1,124,458		(+208,852)	
		固定資産(j)	1,695,180	1,974,091		(+278,911)	
		負債(k)		639,325	829,327		(+190,002)
		流動負債(l)	282,077	460,670		(+178,593)	
		固定負債(m)	357,248	368,657		(+11,409)	
		純資産(n)		1,971,460	2,269,222		(+297,762)
		資本金(o)	1,020,000	1,020,000		(0)	
		借入金残高(p)		289,100	307,165		(+18,065)

R6年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	①札幌国際スキー場は索道の料金改定や秋祭り事業が好調であったこと、②豊平峡電気バスの利用料金改定を実施したこと、③藤野は2月以降の降雪状況で予定通りに営業が出来たこと、以上が主要因で大幅な増収となった。
j,p	新たな収益獲得を目的に、旧6人乗りゴンドラ山麓駅舎をリノベーションし戦略施設となる「Lounge THE 6」を開設した。これが主要因で固定資産・固定負債が増加した。
g	前期比で当期純利益が大きく増加している要因は特別利益（補助金）によるものではあるが、経常段階の利益を見ても前期比で約37%アップしていることから、特殊要因を考慮しても堅実な収支状況で決算を終えることが出来た。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R5年度決算	R6年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	4,761	59,598	(+54,838)
市委託料	139,535	144,733	(+5,198)
市業務委託料	6,226	10,238	(+4,012)
うち随意契約	6,226	10,238	(+4,012)
市指定管理費	133,309	134,495	(+1,186)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額			(0)
うち市業務委託分			(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考) 市施設利用料金収入	113,718	134,801	(+21,083)
うち非公募			(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項 目		R5年度	R6年度	(前年比)	評価基準	備 考
(1)健全性	剰余金(n-o)	951,460	1,249,222	(+297,762)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n+h)	75.5%	73.2%	(▲2.3%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i+l)	324.6%	244.1%	(▲80.5%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	86.0%	87.0%	(+1.0%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	11.1%	9.9%	(▲1.2%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	11,241千円	13,281千円	(+2,040千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	29.7%	28.2%	(▲1.5%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	6,027千円	7,049千円	(+1,022千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	53.6%	53.1%	(▲0.5%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度（収入）	0.7%	3.8%	(+3.1%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	16.8%	18.6%	(+1.9%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		□ 非常に高い ■ 高い □ 概ね健全 □ やや低い □ 低い				
理由	健全性については、特に剰余金が前年比で大きく増加し、いずれも評価基準を満たしており、高く評価できる。 生産性については、職員一人当り管理費が評価基準を下回っているが、昨今の光熱費高騰等を考えると致し方ない項目であり、それ以外は評価基準を満たしていることから高く評価できる。 自立性に関する項目についても昨年度比で微増しているが、自立性の高い状態が保たれていると判断される。					

(注1)市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料（随意契約分）＋市指定管理費（非公算分）＋市施設利用料金収入（非公算分）

(注2)市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料＋市指定管理費＋市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、指標(※2)の達成状況の評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画（別冊子）を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考
No.	指標名						
	○出資の継続						
①	市出資金	目標	200,000千円	200,000千円	200,000千円	200,000千円	
		実績	200,000千円				
		評価	達成				
未達成理由と今後の対応（R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

(2)人的関与

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考
No.	指標名						
	○最低限の人的関与の継続						
①	役員の就任数（取締役）	目標	1	1	1	1	
		実績	1	1			
		評価	達成				
未達成理由と今後の対応（R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

(3)団体の活用

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考
No.	指標名						
	○札幌国際スキー場の利用者						
①	札幌国際スキー場の来場者数	目標	282,000	282,000	282,000	282,000	
		実績	271,609	261,678			
		評価	未達成				
②	親子セット券の販売枚数	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	
		実績	9753	7,451			
		評価	未達成				
未達成理由と今後の対応（R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							
二次交通（路線バスから予約制のバス運行）への課題が積み残しとなっている。 旅行エージェントや札幌市など関係各所と連携していきたい。							

事業評価 (1) ていねプール(手稲稲積公園内)の管理運営

1. 事業概要	事業所管課： 建設局みどりの推進部みどりの管理課	担当： 田中	電話： 011-211-2536
(1)事業内容	手稲稲積公園、維持管理及び運営（園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務）		
(2)事業目的	レクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する		
(3)事業開始	昭和57年（1982年）7月		

2. 実施結果

(1)事業 収 支 （ 単 位 ） 千 円	項目	R5年度	R6年度	(前年比)	
	収入	89,516	97,588	(+8,072)	
	(経常収益比)	(5.8 %)	(5.4 %)		
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	15,161	16,835	(+1,674)	
	市施設利用料金収入	50,494	54,838	(+4,344)	
	自主事業収入（補助金除く）	23,168	25,168	(+2,000)	
	その他収入	693	747	(+54)	
	費用（支出）	68,147	70,653	(+2,506)	
	事業費	60,054	63,520	(+3,466)	
	管理費等	8,093	7,133	(▲ 960)	
	収支差	21,369	26,935	(+5,566)	
	収支比率	131.36%	138.12%	(+6.77%)	
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	低年齢層（幼稚園・保育園）への営業活動	実施	実施	実施	実施
②	小中学校の児童・生徒へのチラシ配布	実施	実施	実施	実施
③	健康増進関連施設へのチラシ配布	実施なし	実施	実施	実施
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	全プール利用者数（人）	95,251	81,000	104,288	82,000
②	4歳以上中学生以下のプール利用者数（人）	55,975	48,000	49,299	48,500
③	利用者満足度調査（大いに満足、満足の比率）	96.8%	100.0%	96.2%	100.0%
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている	<input type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出していない
	令和6年度は、市内小学校の夏休み延長の影響や天候に恵まれたこと、また、キッチンカーの導入によりサービスアップを図ったことなどにより利用者数が前年度と比較し約9%増加した。利用者数が10万人を超えたのは、平成25年に小中学生を有料化してからは初めてとなる。利用者満足度調査結果については前年度に引き続き高い水準を維持しており、市民の憩いの施設の提供を達成できていると考える。引き続き利用者の安全性、利便性の向上に取り組み利用者数の増加につなげてほしい。			
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	利用者数の増加が、入場料、駐車場料、レンタル物品の増収につながり全体の収益の増加に影響していると考え。引き続き安定した運営管理に努めていただきたい。			

事業評価（ 2 ） 札幌国際スキー場事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課	担当： 内潟	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	札幌国際スキー場における、リフト・ゴンドラ運行・レストラン運営・各種スクール運営・用具のレンタル・休憩施設の提供・コース整備		
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供すると共に定山溪地域に於ける振興策としてレクリエーション基地の開発を行う。		
(3)事業開始	昭和53年(1978年) 12月		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位：千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)	1,192,404 (77.4 %)	1,574,064 (86.5 %)	(+381,660)	
	市補助金・交付金・負担金	0	57,596	(+57,596)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入（補助金除く）	1,170,589	1,394,980	(+224,391)	
	その他収入	21,815	121,488	(+99,673)	
	費用（支出）	954,900	1,113,851	(+158,951)	
	事業費	862,952	1,011,042	(+148,090)	
管理費等	91,948	102,809	(+10,861)		
収支差	237,504	460,213	(+222,709)		
収支比率	124.87%	141.32%	(+16.45%)		
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	会員組織（くるトクラブ）の組織強化（会員数）	14,619	16,500	13,047	15,000
②	集中レッスンの実施（参加者数）	3,123	3,650	3,195	3,500
③	シニアDAYの継続実施（参加者数）	4,809	5,000	4,419	5,000
④	他スキー場との連携（シーズンネット利用者数）	597	650	401	500
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	来場者数（人）	271,609	282,000	261,678	270,000
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input type="checkbox"/> 十分出ている	<input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
	来場者数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度に大きく落ち込んだが、翌年度以降急速に回復し、令和5年度においては、コロナ前の平成30・令和元年度と同水準となった。令和6年度においては、令和5年度と比較すると減少し、目標を下回っているが、これは路線バス減便や諸物価高騰などの影響が大きいものと思われる。一方でインバウンドは引き続き増加傾向にあり、これを見越した収益改善策も採っており、事業収入は着実に増加している。今後は、定山溪地域との一層の連携等により、国内外の観光客に訴求するような魅力向上に取り組むことを期待する。			
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	収支については、令和6年度においてはインバウンドの増加や索道料金の改定などが要因として、令和5年度を上回る事業収入となり良好な収支状況となっている。引き続き安定した運営管理に努めていただきたい。			

事業評価 (3) 豊平峡電気自動車事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課	担当： 岩渕	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	豊平峡電気自動車の運営、受託事業として公園管理 市委託料(随意契約) 5,151		
(2)事業目的	紅葉の名所として市民に親しまれている豊平峡において、豊平峡電気自動車事業を通じて市民の健康増進に寄与するとともに定山溪地区の観光振興を図る。		
(3)事業開始	昭和51年(1976年) 8月		

2. 実施結果

(1)事業 収 支 (単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)	
	収入	44,102	53,675	(+9,573)	
	(経常収益比)	(2.9 %)	(3.0 %)		
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	3,205	5,151	(+1,946)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	34,230	48,223	(+13,993)	
	その他収入	6,667	301	(▲6,366)	
	費用(支出)	36,190	53,671	(+17,481)	
	事業費	33,032	49,716	(+16,684)	
	管理費等	3,158	3,955	(+797)	
	収支差	7,912	4	(▲7,908)	
	収支比率	121.86%	100.01%	(▲21.85%)	
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	デイクアサービス施設の来場促進	実施済	実施	実施済	実施
②	地元企業・団体等への販促	実施済	実施	実施済	実施
③	定山溪温泉、果樹園とのタイアップ設定	実施済	実施	実施済	実施
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	来場者数(豊平峡ダム・インバウンド含む)	62,193	64,000	61,880	64,400
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input type="checkbox"/> 十分出ている	<input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出していない
	令和6年度の来場者数については、目標を下回ったが昨年とほぼ同水準となった。電気バス更新に伴う発信の強化や諸情勢を踏まえた料金改定にも取り組んでおり、事業収益は増加している。引き続き、定山溪温泉や、近郊の観光施設等と連携し、定山溪地区全体の観光振興に資する取り組みを実施していただくとともに、繁忙期である紅葉シーズンのみならず、5月～9月における誘客に資する取組の打ち出しを期待する。			
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	今後も可能な限り経費節減については継続していただくとともに、利用率の向上や、収入拡大に資する取組を実施していただくことで、収支状況の向上を目指していただきたい。			

事業評価 (4) 藤野野外スポーツ交流施設の管理運営

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 谷内	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	藤野野外スポーツ交流施設の管理運営に伴う、施設・設備維持管理業務、施設開放業務(利用料金制度)、スポーツ普及振興業務		市指定管理費(公募) 121,231 市補助金 2,002
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する。		
(3)事業開始	平成13年(2001年)12月		

2. 実施結果

(1)事業 収 支 (単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)	
	収入	228,880	265,974	(+37,094)	
	(経常収益比)	(14.9 %)	(14.6 %)		
	市補助金・交付金・負担金	0	2,002	(+2,002)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	121,190	121,231	(+41)	
	市施設利用料金収入	63,224	79,963	(+16,739)	
	自主事業収入(補助金除く)	38,017	62,778	(+24,761)	
	その他収入	6,449	0	(▲6,449)	
	費用(支出)	250,742	269,417	(+18,675)	
	事業費	232,372	249,963	(+17,591)	
	管理費等	18,370	19,454	(+1,084)	
	収支差	▲21,862	▲3,443	(+18,419)	
	収支比率	91.28%	98.72%	(+7.44%)	
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	営業日数	254	274	278	121
②	※R7年度夏期は改修工事等により全休				
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	リフト輸送人員数	602,732	777,000	754,066	777,000
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input type="checkbox"/> 十分出ている	<input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出していない
	令和6年度については、12月25日に冬季営業を開始し、利用料金収入及びリフト輸送人員数ともに、積雪不足により営業開始が遅れた昨年度実績を大幅に上回る結果となった。また、競技団体等と連携・調整し、スキー学習の積極的な受け入れや支援、スキー検定、リュージュ・スケルトン体験会の実施、スキースクールの運営等により、ウィンタースポーツの普及振興に寄与しているほか、リフト券等の事前予約・オンライン決済の導入や無料シャトルバスの乗降場所を増やし運行ルートを工夫するなど、利便性向上や利用促進に努めていることは評価できる。 今後も鉄道事業法に基づく安全な索道運行を実施するとともに、施設の利用者数増加につながるよう、一層のサービス向上及び施設のPR等に努めることを期待する。			
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	利用料金収入及び自主事業収入等の増加により、昨年度に比べて事業収支は改善しているものの、黒字転換には至っていない。利用者ニーズを踏まえた更なるサービス向上及び新たな顧客の開拓等により、安定した施設の管理運営に取り組んでいただきたい。			

貸 借 対 照 表

令和7年5月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	1, 124, 458, 240	流 動 負 債	460, 669, 675
現 金 及 び 預 金	1, 043, 970, 891	1年以内返済予定の	
売 掛 金	12, 877, 013	長 期 借 入 金	88, 604, 000
商 品	5, 627, 669	未 払 金	247, 729, 187
貯 蔵 品	13, 941, 423	未 払 法 人 税 等	51, 779, 600
前 払 費 用	15, 944, 784	未 払 事 業 所 税	10, 725, 400
立 替 金	44, 795	未 払 消 費 税 等	3, 742, 400
未 収 入 金	21, 926, 612	未 払 費 用	836, 241
そ の 他	125, 053	契 約 負 債	16, 578, 665
有 価 証 券	10, 000, 000	預 り 金	22, 765, 645
		前 受 収 益	6, 222, 681
固 定 資 産	1, 974, 090, 515	賞 与 引 当 金	11, 685, 856
有形固定資産	(1, 836, 116, 916)		
建 物	868, 536, 481	固 定 負 債	368, 656, 746
構 築 物	246, 593, 037	長 期 借 入 金	218, 561, 000
機 械 装 置	414, 961, 693	リ ー ス 債 務	20, 709, 200
車 輜 運 搬 具	90, 588, 748	退 職 給 付 引 当 金	93, 511, 570
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品	89, 158, 583	繰 延 税 金 負 債	35, 874, 976
土 地	101, 105, 048		
建 設 仮 勘 定	6, 575, 000		
リ ー ス 資 産	18, 598, 326	負 債 合 計	829, 326, 421
無形固定資産	(18, 261, 178)	(純資産の部)	
電 話 加 入 権	1, 412, 402	株 主 資 本	2, 269, 222, 334
グ レ ン デ 整 備 費	3, 366, 000	資 本 金	1, 020, 000, 000
ソ フ ト ウ ェ ア	13, 482, 776	利 益 剰 余 金	1, 249, 222, 334
投資その他の資産	(119, 712, 421)	利 益 準 備 金	50, 178, 000
投 資 有 価 証 券	109, 778, 014	そ の 他 利 益 剰 余 金	1, 199, 044, 334
出 資 金	20, 000	別 途 積 立 金	218, 000, 000
長 期 貸 付 金	2, 588, 000	配 当 平 均 積 立 金	60, 000, 000
差 入 保 証 金	7, 306, 007	圧 縮 積 立 金	110, 957, 550
役 員 退 職 積 立 金	20, 400	繰 越 利 益 剰 余 金	810, 086, 784
		純 資 産 合 計	2, 269, 222, 334
資 産 合 計	3, 098, 548, 755	負債及び純資産合計	3, 098, 548, 755

損 益 計 算 書

自 令和6年6月 1日

至 令和7年5月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
売上高		1,809,458,428
スキー場事業売上	1,394,980,583	
豊平峡事業売上	53,663,504	
ていねプール事業売上	96,841,538	
藤野事業売上	263,972,803	
売上原価		11,057,368
売上原価	11,057,368	
売上総利益		1,798,401,060
販売費及び一般管理費		1,507,594,431
販売費及び一般管理費	1,507,594,431	
営業利益		290,806,629
営業外収益		9,995,812
受取利息	642,220	
受取配当金	450,600	
雑収入	8,902,992	
営業外費用		4,003,336
支払利息	3,968,376	
雑損失	34,960	
経常利益		296,799,105
特別利益		169,518,499
固定資産売却益	1,499,999	
補助金	168,018,500	
特別損失		6,420,157
固定資産除却損	6,345,450	
固定資産売却損	74,707	
税引前当期純利益		459,897,447
法人税、住民税及び事業税		78,289,789
法人税等調整額		53,245,961
当期純利益		328,361,697